

中小企業タイムズ

8月号

2012年
第669/244号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

今月の見どころ

- 1面 各県代表等が意見交換
- 3面 厳しさ続く県内業況(6月報告)
- 4・5面 組合の事業・イベントを紹介
- 8面 中央会の新体制(組織図)

7月の出来事

- 時事
 - 1日 牛の生レバーの飲食店での提供禁止
路線価3年連続で下落
 - 6日 結核の集団感染、山梨県で15人
 - 11日 九州北部豪雨で甚大な被害
熱中症の被害相次ぐ
- 山梨県中央会ニュース
 - 7日 関東ブロック青年中央会代表者会議
 - 10日 労務改善団体連合会平成24年度通常総会
 - 13日 事務連絡協議会平成24年度通常総会
 - 18日 関東甲信越静岡ブロック中央会会長会議
 - 26日 食品産業協議会平成24年度通常総会
 - 27日 第5回正副会長会議

8月の予定

- 24日 第2回やまなし中小企業合同就職説明会

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp> e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



全国の中央会会長が一堂に会し 中小企業団体トップセミナー開催される

全国中小企業団体中央会会長 鶴田欣也は、7月11日東京「品川プリンスホテル」において、中小企業団体トップセミナーを開催した。これは、厳しい経済環境にあつて、中小企業が直面する緊急の課題等について全国の都道府県中央会会長が一堂に会し、議論することで、中小企業並びに組合等連携組織の新たな方向性を見出し、支援して行くことを目的に開催された。

当日は、全国中央会の眞鍋隆専務理事が司会者となり、鶴田欣也会長が主催者あいさつを行った。来賓として出席した鈴木正徳中小企業庁長官は、「新連携は、ややもすると新商品の意味にとらえがちだが、実は新たな事業活動の連携である。中小企業の事業活動を促進するため今年度はあらためて新連携を推進する。」と祝辞を述べた。

セミナーは、二部で構成され、第一部は「中央会の活性化について」をテーマに、5県の中央会から意見発表がされた。まずは、震災復興に関して、今野宮城県中央会会長が「中央会の絆による被災地の復旧・復興について」、内池福島県中央会会長が「in Fukushima宣言」後の被災地の復旧・復興について、正木福岡県中央会会長が「被災地支援の継続に向けて」と題した発表がされた。続いて、中央会の活性化に向けて、金子群馬県中央会会長が「私の実践中央会活性化論」、早川高知県中央会会長が「会員に喜ばれる支援機関とは」と題した発表がされた。前半の震災復興では、宮

城県は「電気・道路・鉄道等のインフラ並びに仮設住宅・災害廃棄物仮置場等の生活衛生環境はほぼ整いつつあるが、農地・畜産施設等の農林水産施設は復旧率5割以下で、河川・港湾等の土木施設の本格復旧はこれから」等の報告がされた。また、後半の中央会活性化では、群馬県の「群馬県中小企業憲章」の事例等が紹介された。さらに、参加各県中央会会長の議論が

交わされた後、全国中央会眞鍋専務は「人口の減少と中小企業の数も減少している現状にあり、また、福島には未だに16万人の難民が存在し、震災復興は遅れている。中央会は、①中央会間の情報等を生かしながら、中央会職員の人材力を高め、②組合ブランドの活用や連携の強みによる組合のメリットを活かし、③理念を持ち、覚悟を持った会長とそれにふさわしい事務局による行動」として意見を締め

た。また、社社長からは、岐阜市で開催されたAPEC会議への参加や自社の海外展開の経験談が話され、各県会長の意見交換がされた後、全国中央会眞鍋専務から「海外展開に際してのトラブル等は自己責任を前提に、①政府やJETRO等の窓口や支援策を活用し、②中央会や組合などの組織が目標を持ってフォローまでの支援を行い、③海外の企業は情報等の直接取引が行える日本の中小企業を求めている。1人の企業でも海外展開の恩恵を享受できるように強い中小企業を造って行く」とした意見で締められた。

最後に、鶴田会長があいさつを行い、セミナーを終了した。

「平成24年度中小企業者に関する国等の契約の方針」のポイント

6月22日、「平成24年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が閣議決定されました。「国等の契約の方針」は、中小企業者の受注の機会の増大を図るため、官公需法（「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」（昭和41年法律第97号））に基づき、毎年度閣議決定しているものです。平成24年度における国等の契約の方針において新たに講じられた主な措置は以下のとおりです。

1. 中小企業の受注機会の増大のため新たに講じる主な措置

(1) 中小企業者の特性を踏まえた配慮措置

小規模企業の特性を踏まえ、契約内容の履行の確保を行う観点から、迅速な対応の可否等を総合評価落札方式の評価項目に加えることが特に必要である場合は、これを十分考慮するよう努める。

(2) 元請事業者が外注する際の地域中小企業者への配慮措置

元請から先の下請、二次下請等の間での民民ベースの受発注についても、以下の各点が確保されるよう、国等が広く周知する。

- ① 地域の中小企業者の評価・活用及び適切な人件費等を確保すること
- ② 外注する際、契約時に書面にて取引条件等を明確化すること

(3) 東日本大震災の被災地域等における中小企業者に対する配慮措置

- ① がれき処理等の役務における地域の中小企業者への評価・活用
がれき処理や道路清掃などの役務において、入札参加資格での地域要件の設定や総合評価落札方式の評価項目に地域精通度等を加点要素として加えることにより、地域の中小企業者の活用を図る。
- ② 役務及び工事等における実勢価格を踏まえた適切な予定価格の作成
被災地域における入札不調を防止するため、人件費、原材料費が高騰する場合においても、その実勢価格を踏まえ適切な予定価格の作成を行うこととする。

(4) ダンピング防止対策

- ① ダンピング防止についての周知
入札参加側の企業等に向けて、ダンピング防止の重要性を周知する。
- ② 人件費が明記された入札価格内訳書の徴収の徹底
人件費比率の高い役務業務で低価格入札が行われた場合、ダンピング入札となっていないか、人件費を中心に入念にチェックする。

(5) その他

- ① 知的財産権の取り扱いの書面による明確化
著作権等の知的財産権を含む契約において、受注企業に帰属する知的財産権を保護するため、受発注者間でその取り扱いを書面にて明確にする。

2. 中小企業者向け契約目標

平成24年度における国等の中小企業者向け契約目標金額：約3兆8,312億円（目標率56.3%）

● 参考：平成23年度の契約実績

中小企業者向け契約実績額 約3兆6,256億円
（契約比率：52.7%）

暑中お見舞い申し上げます

平素は、本会の事業運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年、東日本大震災により、日本経済は大変大きな打撃を受けました。また、欧州の債務問題による空前の円高・デフレの進行、さらに今年に入り電気料金値上げや消費税の引き上げの審議は、低迷している日本経済に大きな影響を与えることが予想され、中小企業はかつてない厳しい経営環境を余儀なくされる中で、会員の皆様におかれましては、より一層の経営努力をなされていることと存じます。

このような中、私は中央会の今年の活動テーマを「居安思危」といたしました。これは、平時の中にあっても、未来の危機に備えを怠らないように、という意味でございます。

厳しい経済環境だからこそ、連携組織である組合は、中小企業の発展に重要な役割を果たすものであります。本会は、組合の絆の力によって困難に立ち向かう中小企業の組合活動を、さらに力強く支援していく所存あります。



会員の皆様方におかれましては、あらためて、組合の活動を再認識され、積極的な事業展開により、傘下会員企業の皆様が共にこの困難な時代を乗り越え、発展されますことをご期待申し上げます。暑さ厳しい折ですが、ご健康に留意され、ますますのご活躍を祈念申し上げます。

山梨県中小企業団体中央会
会長 内藤悦次

ネット環境と景気回復

ibuki

息吹

先日、知り合いからフレッツ光の「にねん割」は、得か損かと相談を受けたが、即答に困った。なぜならば、現在の一般家庭での情報通信関係の支出はというと、新聞の購読料やNTTの電話料、テレビではNHKの受信料をはじめ、CATVの加入料・CSやBS放送の受信料、携帯電話やスマートフォンの使用料、インターネットでは回線使用料・プロバイダの利用料・接続機器のレンタル料等々があり、それらを個別契約、或いは複数の一括契約とが混在する中で相当の額が支払われているものと思われ。したがって、光回線の割引制度のみを見ると得となりますが、家庭での情報通信関係の支出を見直すと、それ以上に経費の節約が図れる方法があるのかもしれない。

ところで、相談を受けた私自身の情報ツールの活用はというと、未だに携帯電話のメール使用で止まったままで、情報通信関係の支出に対するコストパフォーマンスはかなり低いといえます。情報の収集・伝達手段が、旧来の新聞・テレビの報道や電話・手紙などのパーソナルユースのツールから、現在は圧倒的にインターネット経由になっており、加えて、パソコンのみであったネットワーク環境が、携帯電話やテレビ、タブレットPC、携帯ゲーム機にも波及し、さらには音楽プレイヤーやデジタルカメラ等の家電製品へと拡大と進化の途上にあります。

世界では、ツイッターやフェイスブック等が重要な役割を果たし、北アフリカでは革命が起き、日本でも原発再稼働反対の抗議デモが首相官邸前で行われるまでになっています。インターネットが世情に影響を及ぼす時代にあつて、家庭で支出される多くの情報通信関係の費用が、景気回復に直接効果が現れないのはなぜでしょうか。我が家の子供たちは、ツイッターやフェイスブック、スマホでアプリを使い、音楽はダウンロードの世代です。日常生活でもネット環境を駆使する世代が社会人となってきている時代であり、景気回復への効果を期待したい。

山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の6月の景況は、全業種のDI値が、売上高-12(前年同月比+24)、収益状況-24(前年同月比+20)、景況感-26(前年同月比+10)となった。業種別のDI値では製造業で、売上高-5(前年同月比+35)、収益状況は-20(前年同月比+20)、景況感-15(前年同月比+25)。非製造業で、売上高-17(前年同月比+16)、収益状況-27(前年同月比+20)、景況感-33(前年同月比±0)となり、非製造業の景況感DI値が不変であった以外は、全ての項目でポイントは改善傾向にある。

一方、前月比のDI値全体では、景況感には変化がないものの、売上高で-14、収益状況では-4ポイントの悪化となった。

業種別前月比では、製造業で、売上高が-5ポイントと悪化した。収益状況は+15、景況感で+5とポイントを改善させている。非製造業では、売上高で-20、収益状況-17、景況感-3と全てでポイントを下げている。

情報連絡員による県内各業界の6月景況は、製造業、非製造業ともに、今後の業況悪化などの先行きを不安視する報告が目立っており、その背景には、円高や電気料金値上げなどを要因とする収益の確保難に加え、消費税増税が議論される中で、さらなる消費マインドの低下が懸念材料となっていることが挙げられ、日本経済の先行き不透明感を強めている。

情報連絡員からの業況報告でも、「業況が悪い中で不変・横ばい」「今後の仕事量・受注の減少が見込まれる」など、厳しいものが多く、現在、中小企業が直面する厳しい経営実態を反映している。

業界の動き

平成24年6月分

データから見た

トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

業界から一言

製造業

●**食料品(水産物加工)**／活魚(生伊勢エビや生鮑)の販売増加から売上は前年同月比で伸びたものの、加工製品の売上は横ばいで採算的にも厳しい。

●**食料品(洋菓子製造)**／自社ブランド、デザート、大型スーパー向けとも低調。原材料は、高値安定で採算面は厳しい。

●**食料品(菓子)**／天候によって売上の増減が大きく、観光客向け土産品の売上は伸び悩んでいる。

●**食料品(ワイン)**／輸入ワインや国内大手の低価格帯のワインが牽引している。

●**繊維・同製品(織物)**／ユーロ安の影響でヨーロッパ

向けの服地の輸出が殆ど止まっている。また、イタリアの高級スカーフ、マフラーの輸入が増え、県内の受注量は減少。

●**印刷**／景況は悪い状況で不変、印刷の受注部数も徐々に減少傾向。

●**窯業・土石(生コン)**／出荷量は横ばい。既契約物件により前年対比では伸びている。その後は不透明で、今後の景況は公共工事の発注状況による。

●**鉄鋼・金属(1)**／半導体電子部品は頭打ちの傾向。また、電力料金値上げの影響はまだ見えてこない。

●**鉄鋼・金属(2)**／今年は4月から月を追うことに業況が悪化してきている。

●**一般機器(1)**／売上の変化はないが、円高や電気料金の値上げ等、先行きは不透明。

●**電気機器**／大企業の工場が海外へ移転している。半導体大手のルネサスエレクトロニクスの一部工場を売却又は閉鎖する方針は、組合員の半導体製造業に大

打撃になると予測。

●**その他(貴金属)**／構造的な空洞化で景気の先行きが見通せず、研磨業界の中で競争も激化している。

●**その他(貴金属)**／業界の景況は不変。

●**卸売(ジュエリー)**／厳しい状況は変わらない。

●**卸売(青果)**／全体として仕入は増加傾向で、入荷量も多く荷動きも活発

●**卸売(食肉)**／牛肉・豚肉の需要は悪い。全体的な売上、客数ともに昨年を大きく下回った。

●**小売(水産物)**／6月は5月より一段と消費購買力が落ち込んでいる。移動販売を行う組合員も悲鳴を上げている。

●**小売(水産物)**／6月の県内売上は、前年同月比64%。冷蔵庫は省エネタイプへの買い換え需要が好調。

●**小売(事務機文具)**／業況は非常に厳しい。納品業者は、この2ヶ月動きが無い。

●**小売(水産物)**／前年対比不変。海外からの旅行者については、放射能問題が色濃く影響しているため、この改善がない限り進展は期待できない。

●**宿泊業(1)**／前年対比不変。海外からの旅行者については、放射能問題が色濃く影響しているため、この改善がない限り進展は期待できない。

●**宿泊業(2)**／大きな収益が見込める団体客に関しては未だ少ない状況で、各旅館とも売上の確保が困難な状況にある。

●**美容業**／消費者マインドが低迷しており、美容院の過当競争から客単価は下がっている。この傾向は今後も継続すると予測

●**建設業(型枠)**／頼みの公共事業も減少しており、職人不足から上昇しはじめた型枠工事単価も仕事の減少とともに再び下がり、秋以降不安を抱えている業者が多い。

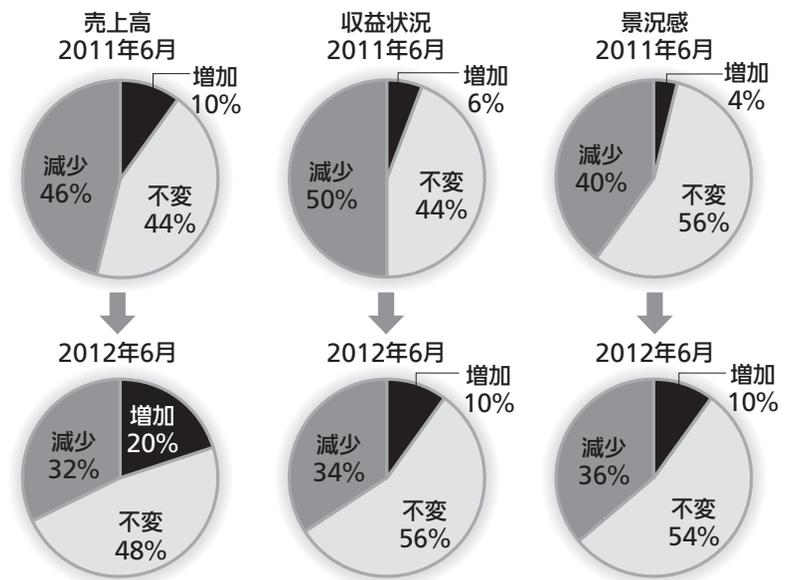
●**建設業(鉄構)**／鉄骨需要低迷の長期化の中で一時受注価格の値戻しがあったが、物件数の増加が見込めず価格は下押し傾向、各社とも小物件を確保しながら耐え忍んでいる。

●**設備工事(管設備)**／新設住宅着工戸数は、前年を下回る状況が続いており、上下水道局への給水装置工事申請件数、水道材料販売も低下している。

●**運輸(タクシー)**／燃料の高騰や電気代の値上げ、消費税増税など厳しい問題が山積し、今後、益々厳しい経営に追い込まれると予想される。

●**運輸(トラック)**／燃料価格の高止まりにより、稼働率が良くても仕事内容によっては収益に結びつかない。

データから見た業界の動き(平成24年6月分)



業界の声

山梨県地質調査事業協同組合
理事長 萩原利樹氏

業界の現況は?

当業界では、温泉や地下水の掘削などのボーリング工事と土木工事に先立つ地質調査などを行っています。また、組合員では先進地視察、技術研修会、安全パトロールと業界の技術力アップに積極的に取り組んでいます。今では市町村による温泉掘削もほぼ一巡したため、現在は温泉井戸のメンテナンスなどが重要な業務の一つになっています。温泉は地下水に様々な成分等が混ざり合ったもので、それぞれ個性があります。そのため、優良な温泉を維持していくためには、それぞれの泉質にあったメンテナンスを行う必要があります。しかし、このことはあまり知られてはいないので、お客様にこのメンテナンスの重要性を理解してもらうことに努めています。

今後の動向は?

建設業界に限らず、目先の利益を求めて競争するという風潮が目につきます。自社の利益だけを優先するのではなく、仕事を通して地域社会に貢献し、それが結果として会社や業界の安定と発展に繋がっていくような取り組みの環をつなげていくことが必要だと思えます。

狭い山梨を成長させていくためには、これからは一つの業界や企業だけが「自分さえ良ければ」ということではなく、各社が長期的ビジョンを持ち、少しでも良いものを生み出していく努力の中で、社会全体で次世代の人材や企業を育成し、人材も企業も成長していく「みんなで良くなっていく」といった考え方が必要になってくると思います。

中央会に望むことは?

中央会は様々な業界団体を会員としているメリットを活かし、各業界から収集した情報の共有の場を作りたい。ただ、一社だけではできない事業展開や業界団体間の連携を更に強化してもらいたいと思っています。それができるのは中央会だけだと期待しています。



砂防ダムの地盤調査

『労災防止研修会』開催！

ACTIVE KUMIAI

山梨県砂利組合連合会



県内の4つの協同組合（山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合）で組織される『山梨県砂利組合連合会』（会長 井上聰一郎）は、去る6月30日（土）午前10時30分より連合会構成組合の砂利採取業者ら約70名の参加の下、同連合会が事務所を構える甲府市内の農業共済会館内研修室において『労働災害防止研修会』を開催した。

井上会長は、冒頭のあいさつの中で、昨今の厳しい経済状況の中にあっても、当業界の有意性を述べ、また、日本砂利協会全国大会で掲げられたスローガンでもある『労働を通しての社会貢献』や『労働災害の撲滅』を実践するためにも、その前提となる安全に対する意識・準備の重要性を訴えた。

あいさつをする井上会長

TOPICS

また、講師の労働安全コンサルタントの功刀能文氏は、これまでに起きたさまざまな労働事故事例の説明とともに、特に今回『つまずきや転び』という些細なことから起こる大事故について、どうしてその事故が起きたかなどの詳しい説明とその防止策、さらには、これからの季節に特に気をつけなければならない『熱中症』に対する対策などについて講演し、作業前の安全環境の確保の大切さを説いた。



熱心に聴講する参加者

TOPICS

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合

赤帽の心

ACTIVE KUMIAI



荷主さんの心を通ぶ赤帽車

赤帽は1975年5月に我が国初の軽貨物自動車による軽運送業として東京都練馬区で誕生しました。3年後の1978年8月には、全国47都道府県全てに拠点を置く全国組織の協同組合として運輸省から認可され、今や全国51の協同組合のもと、約15,000台の赤帽車が都会の狭い路地裏から山間部の林道まで、持ち前の小回りの効く機動力を発揮して活躍しております。赤帽の主な業務は、緊急輸送、単身者様のお引越し、貸しきり便、宅配業務等ですが、例えばフリーペーパーの差し替え作業等、輸送以外の付加価値作業のついた業務も得意分野としております。

赤帽山梨県軽自動車運送協同組合は、昭和51年9月に、軽車両運送業を営む有志で任意組合を結成しました。

当時、甲府市に事務所を設けわずか車両5台で経営しておりましたが、厳しい経済環境の影響を受け経営が落ち込み、業界発展のために新たな事業活動を模索する中で、個々の能力では自ずと限界があると考え、昭和54年1月に法人格となる協同組合を設立しました。

以来、赤帽山梨県は、組合員の増員や運送シェアを拡大するとともに、小さな赤帽車を持つ大きな信頼—私たち赤帽はお荷物を運ぶだけでなく、荷物を真心というひとつのパッケージで包み込み、目に見えないところから手に触れるところまで、お客様に成り代わり、「荷主さんの心を通ぶ赤帽車」をモットーに、組合員、職員が一体となって地元で愛される赤帽車として真心を持ち続け今日に至りました。



赤帽山梨県は、小さな車に大きな夢と希望を載せてこれら一層、地域の皆様に喜んでいただけるような運送業に一步でも近づく努力を続けて行きます。

TOPICS

甲府建具協同組合

建具を通じた地域貢献

ACTIVE KUMIAI



手すりを取り付ける組合員

甲府建具協同組合（深沢建実理事長）では、地域社会への奉仕活動として、15年程前から4月10日の「良い戸の日」に合わせ、市内の公民館や福祉施設等で、戸や障子の建て付け調整や網戸の張り替え、戸車・ドアノブ・ドアチェックの交換・修理など、多岐にわたるボランティア活動を組合員の協力のもと取り組んでいる。

組合では、毎回建具の修繕に係る奉仕活動を実施してきたが、今年には市内の公園と甲府水道局の運動場に設置された25カ所の和式トイレに、身体を支えるための手すりを取り付ける作業を行った。今回の奉仕活動のいきさつは、組合員が参加したグランドゴルフの大会時に、参加者から「トイレが全て和式で身体を支える手すりが無いため、高齢者や足腰が弱い方には不便で危険」といった声を聞いたことから、組合で公園等を管理する甲府市公園緑地課の担当者に事情を説明し、奉仕活動の一環として同様なケースのトイレについて、安全対策のため手すりを設置して対応することにした。



取付後

取付前

こうした地域社会への奉仕活動は、昭和60年に「良い戸の日」が制定されて以降、全国各地の建具組合で活発になり、介護施設、児童養護施設、児童館など様々な場所でも、建具の修繕や建具の寄贈等のボランティア活動が行われている。

組合では、今後も地域社会に根差した組織として奉仕活動を推進し、市民が快適・安全に施設等を利用できるように、建具を通じた社会貢献活動をこれからも積極的に取り組んでいく。



来場者と商談する会場風景

山梨県宝石研磨工業協同組合(水村勝理事長)は、7月5日・6日の両日、甲府市「山梨県地場産業センター」において、第62回ジェムストーンフェア in KOFUを開催した。

このフェアは、ジュエリー製品の素材となる宝石の研磨石製作者による展示会として、ジュエリーメーカーやデザイナーを対象に、年2~3回開催されてきている。今回は、組合員22社、協賛企業7社の29社が出展し、秋冬商戦に向けた新作など5万点ほどが並んだ。

ジェムストーンフェアは、同組合の組合員の販売促進を目的として、昭和55年9月の組合創立とともに、第1回研磨新作見本市を開催して以来32年間継続して開催されてきており、ジュエリー素材(研磨石)提供者の見本市として定着し、県内外から多くの業界関係者を集めている。

山梨の宝石研磨技術は、江戸時代の水晶彫刻技術が発祥とされる。この宝石研磨業界と貴金属加工業界にジュエリー製品の流通業界が一体となり、山梨のジュエリー産地が形成されている。このことから、今回もジュエリー製造の一翼を担う貴金属加工業界からも協賛出展がされた。

なお、同組合はジュエリー業界の再編に伴い、今年12月には協同組合山梨県ジュエリー協会との合併を予定しており、山梨県宝石研磨工業協同組合としての開催は今回が最後となる。合併後は、新組織が開催の継続を予定している。



テープカットをする内藤会長(右から2人目)

第62回ジェムストーンフェア in KOFU

山梨県宝石研磨工業協同組合

山梨県遊技業協同組合

全関東遊技業組合連合会「定時総会」が山梨にて開催!

山梨県遊技業協同組合(大森武正理事長)が会員となっている全関東遊技業組合連合会(青松英和会長)が、去る7月12日、山梨県富士吉田市にある「ハイランドリゾートホテル&スパ」に於いて、第24回定時総会及び祝賀会が開催された。当日は各県より約150名の出席があった。当連合会は、山梨、長野、埼玉、千葉、静岡、新潟、栃木、茨城、神奈川、群馬の各県遊技業協同組合を会員として組織されている団体である。本年は山梨県に於いて開催された。



挨拶する青松会長

当連合会では、会員相互の情報交換及び親睦交流、情報提供事業等を行っている。本定時総会においては、「平成23年度の事業報告及び収支決算報告」、「平成24年度の事業計画案及び収支予算案」、「総会宣言案及び総会スローガン案」について話し合わせ、全て原案のとおり可決決定された。

その中で、総会宣言については、東日本大震災における募金活動やボランティア活動、また節電対策に真摯に取り組んできた中で、今後も社会的要請やお客様の声に耳を傾け、組織の総力を挙げてそれらを反映した取り組みを推進していくことが確認された。

その後、本会内藤会長らが招かれた祝賀会が開催された。県外から来られた来賓や当連合会関係者の方々、山梨の味に舌鼓を打った。また、出席者の方々には山梨の名産である郡内織物にて製造された雨傘が贈られ、出席者の方々に大変喜ばれていた。さらに、翌13日には親睦交流事業として富士山観光及び親睦ゴルフ大会が開催された。皆、親睦交流を楽しみながら各県の状況等の情報交換を行っていた。



祝賀会の様子

山梨県美容業生活衛生同業組合

個々の創造性や技術を競う 第26回山梨県美容技術選手権大会を開催

美容業界では、日々多様化が進む顧客ニーズへの対応や、最新ファッション、流行に敏感な顧客を満足させる高度で新しい技術の提供が必要とされていることから、創造性と技能を備えた人材の育成が急務になっており、美容師個々の技術向上はもとより、業界として次代を担う人材の養成等を強化している。

組合では、この競技大会を通じて、参加選手の中から将来、業界のリーダーとなり活躍していく人材が育つことに期待を寄せている。

また、全国美容業生活衛生同業組合連合会が主催する全国大会は、世界大会にも繋がっており、今後、世界を舞台にした活躍にも期待できることから、選手たちにとっては、大きなチャンスの場ともなっている。

この大会は、第40回全日本美容技術選手権大会の山梨県予選を兼ねており、選抜された成績優秀者は、10月16日に愛知県で開催される、全日本美容技術選手権大会への出場権が与えられる。



制限時間内で技術を競い合った



山梨県美容業生活衛生同業組合(深澤仁理事長)は7月16日、甲府市の「かいてらす」(山梨県地場産業センター)において第26回山梨県美容技術選手権大会を開催した。大会には、100名を超える美容師と美容専門学校生が参加し、ワインディング、アップスタイル、カット&フロア、留袖着付、中振袖着付、洋装ブライダル、ネイルアート、ストリートカット競技など、各自がエントリーした種目に挑んだ。参加選手はそれぞれの

「会員間の交流事業を活発化」 山梨県中小企業組合等事務連絡協議会通常総会



あいさつする菅原会長

菅原会長は、各組合・団体間の連携を促進させる事業を全面に打ち出し、地域や業種の枠にとられない組合等事務局同士の情報交換・懇談・懇親の場とする「親睦交流事業」をはじめ、会員間において共通する課題に取り組むための「教育研修事業」などそれぞれの事業活動に直接役立つような事業計画を総会に提出、全項目とも会員の賛同を得た。

また、事前に会員に行われた事業内容についてのアンケートでは、視察研修やスポーツなども兼ねた交流会などの意見が寄せられており、新しい事業も計画していく。

同会は昭和47年に現在の前身組織である「山梨県中小企業団体事務局長会」として設立され、平成18年に組織体制の一部を変更し現在に至る。今年度はちょうど40周年を迎えることから、記念事業の実施も会員からの意見を反映して行う予定。

専従の事務局を有する組合等には是非活動に参加して欲しいと会員の募集も広く行っている。問い合わせ・質問に関しては山梨県中小企業組合等事務連絡協議会事務局 山梨県中小企業団体中央会 組織開発部 組織課 仲澤・堀内まで

去る7月13日、中央会研修室において山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(菅原五男会長)の平成24年度の通常総会が開催された。

総会では平成23年度の事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算等を審議、また任期満了に伴う役員改選が行われ、菅原会長ほか8名の理事が再任、また新たに志村栄成氏(山梨県ビルメンテナンス協同組合専務理事)及び、井上孝氏(甲府市管工事協同組合専務理事)が理事に、中込直氏(山梨県火災共済協同組合専務局長)及び有賀裕之氏(山梨県印刷工業組合専務局長)が監事に選任された。



山梨県食品産業協議会

平成24年度 通常総会・セミナー開催



あいさつする長澤会長

去る7月26日に、山梨県食品産業協議会(長澤利久会長、榎はくばく会長)は中央会「研修室」において平成24年度通常総会及び同協議会の主催による「事業継続計画(BCP)策定セミナー」を開催した。

本総会では、平成23年度の事業報告・収支決算、平成24年度の事業計画・収支予算、

会費の額及び徴収方法が原案のとおり可決決定された。

本協議会は、「地域農水産物の利用の高度化を図るとともに、本県食品産業の振興を積極的に推進し、もって一般消費者の食生活の安定向上と本県経済の発展に寄与する」ことを目的として昭和63年に設立、これまで新商品開発に関する事業や技術向上など食に関する様々な事業を行ってきた。

今年度も引き続き、加工食品関係フェアへの会員企業の出展支援・助成、各種情報・資料の提供を

積極的に行っていくことを決定した。

また、今年度は役員改選期にあたり、新たな役員がそれぞれ決定した。

続いて、事業継続計画(BCP)策定セミナーでは、NKSJリスクマネジメント(株)リスクコンサルティング事業本部原敬徳氏が「大規模災害の発生時でも事業を継続するために」と題し講演を行い、大規模災害時のBCP策定の体験や、すでにBCP策定に取り組んでいる企業の事例について話された。参加者は熱心に聞き入っていた。



講演を行う原敬徳氏

去る7月10日(火)、山梨県中小企業労務改善団体連合会(大宮山磐会長)は、中央会「研修室」において、平成24年度通常総会を開催した。

当連合会は、労務改善事業の推進と会員が行う事業の健全な発展と、労働者の経済的、社会的地位の向上を図ることを目的として、昭和51年に設立された。

現在は、中央会が事務局となり県内企業の労務改善のため、各種セミナー・講演会、表彰式典の開催やアドバイザーによる労働相談業務等を積極的に実施している。



あいさつする大宮山会長

本総会では、平成23年度の事業報告及び24年度事業計画等が検討され、講演会・講習会・セミナーの開催や11月に開催する「活力ある職場づくり推進運動山梨県大会」の開催、連合会財政基盤強化のための共済業務提

携事業等の実施などについて決議した。

総会終了後には、高齢者を継続的に雇用していくために必要な労務管理をテーマに、雨宮隆浩社会保険労務士を講師とした講演会を開催した。

講演で雨宮社会保険労務士は、「少子高齢化が急速に進展する中、高齢者の雇用形態は日々変化を遂げている。このような中、高齢者の継続雇用を行うためには、社内規定や採用時の手続きを適正に行う必要があり、これを行うことが不要なリスクを回避することとなり、結果的に会社を守ることに繋がる」との説明を行った。

また、最近の労働情勢や法律改正等についても説明が行われると、多くの参加者から質問があり、労働問題に対する関心の高さが伺われた。



雨宮隆浩 社会保険労務士

平成24年度総会開催

山梨県中小企業労務改善団体連合会

第64回 中小企業団体全国大会への参加募集について 情報 **BOX**

第64回中小企業団体全国大会が、《組合 絆 ルネサンス 日本は一つ》をテーマに來たる10月25日(木)、宮崎県宮崎市の「シーガイアコンベンションセンター」で開催されます。

本大会は、毎年一回、全国の組合の代表者と傘下の中小企業が一堂に会し、その決意を表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の拡充と強化を訴え、組合組織を基盤にした中小企業の安定的な振興発展を目的に開催されています。

当会からも、役員を中心に多くの組合関係者の参加を検討しているところです。参加者との交流を深めるとともに、中小企業の熱意を伝えるまたとない機会ですので、万障お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

開催日時 平成24年10月25日(木) 14:10~16:40
開催場所 宮崎市 フェニックス・シーガイア・リゾート
 「シーガイアコンベンションセンター」
 (宮崎県宮崎市山崎町浜山)

県内募集人員 45名(2泊3日)

旅行日程

- 10月24日(水)
 アピオ(7:00)~中央道~羽田空港第2ターミナル(ソラシドエアSNA55)
 (昼食弁当)~宮崎空港(13:30)~堀切峠~鶴戸(うどん)神宮~青島神社~
 青島パームビーチホテル(17:30)
- 10月25日(木)
 ホテル(8:30)~宮崎道~東九州道~西都原古墳群(考古博物館)(11:00)~
 酒泉の社(工場見学・昼食)(12:10)~平和台公園~シーガイアコンベンションセンター
 (全国大会参加)~青島パームビーチホテル(17:30)
- 10月26日(金)
 ホテル(8:30)~鉄肥(おび)城下町散策~昼食~宮崎空港(15:50)
 (ANA610)~羽田空港第2ターミナル~首都高~中央道~アピオ(20:30)

なお、詳細は8月上旬頃に発送されます参加募集通知をご覧ください。
問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 連携支援部 観光課まで

小企業者向け

「特別講習会」 実施組合等募集中

講習会補助
使いやすい
事業です!

山梨県中央会では、組織制度、共同事業、経営、経理・税務、労働、法律、中小企業施策等について自主的に講習会を行う小企業者組合等に対して、特別講習会事業を用意しています。対象となる経費は、専門家謝金、専門家旅費、会場借料、資料費などで、総額7万5千円程度(中央会負担5万円上限)の比較的少額な講習会事業に利用しやすいものです。

募集(事業実施)期間は平成25年1月31日まで、予算上限に至り次第終了となります。積極的なご要望・ご活用をお待ちしております。

●お問い合わせ、事業のお申し込みは、
 担当指導員もしくは山梨県中央会組織開発部
 組織課(堀内・仲澤) 055-237-3215
 までお寄せください。

平成24年度 中小企業組合 検定試験



検定試験を受けて
組合士になろう!

JUST TRY
2012 **12.2**
〈SUN〉

1組合 1組合士
組合のあしたを拓く組合士

出向・移籍の専門職 (財産業雇用安定センター)

東日本大震災被災地企業従業員の 方々を出向・移籍で応援します

人材を必要としている企業の方

被災地企業の従業員の方々の受入情報を募っています

被災地企業で雇用調整を検討している企業の方へ

出向・移籍を希望される方を支援します

(財産業雇用安定センター)のプロフィール

- 経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です
- 全国ネット、47都道府県の事務局でサポート
- 費用はかかりません



お問合せ先

(財産業雇用安定センター)山梨事務所

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-14-13ダイヤビル4階
 Tel 055-235-6236/6276 Fax 055-235-6252
 URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

■ 受験資格

特になし
 (ただし、組合士として認定されるには組合等での実務経験が必要です。)

■ 試験科目

● 組合会計 ● 組合制度 ● 組合運営

■ 試験日

平成24年12月2日(日)

■ 試験地

札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、東京、長野、静岡、名古屋、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、長崎、大分、宮崎、那覇

■ 願書受付期間

平成24年9月3日(月)~10月15日(月)

■ 受験料

5,000円
 (一部科目免除者は3,000円)

■ その他

お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ下さい。

■ お問い合わせ先

都道府県中小企業団体中央会
 全国中小企業団体中央会
 TEL 03-3523-4905
<http://www.chuokai.or.jp>

山梨県中小企業団体中央会 事務局組織・機構図

(平成24年7月1日)

- 専務理事 新海 一男
- 常務理事 依田 正司
- 事務局長 三枝 幹夫

●企画総務部 部長 知見寺好幸

●組織開発部(兼)部長 三枝 幹夫

●連携支援部 部長 小佐野時雄

総務課

- 課長 三井 成志
- 主任 組沢 正文
- 主事 千野 哲宏
- 主事 鈴木 範行

組織課

- 主幹 堀内 修
- 主事 仲澤 秀樹
- 嘱託 原 光彦
- 嘱託 佐野千可子

労働課

- 課長 山本 良一
- 課長補佐 白田あけみ
- 主任 窪田 学
- 嘱託 桜井 隆男
- 嘱託 秋山 正博
- 嘱託 松浦 亨浩
- 嘱託 米山 敦子
- 嘱託 堀内登喜夫
- 嘱託 伊藤 達美
- コーディネーター 岡部 義道

連携支援課

- (兼)課長 小佐野時雄
- 課長補佐 輿水 一篤
- 課長補佐 笠井 靖子
- 主任 齊藤 寛之
- 嘱託 一瀬 絵里

観光課

- 課長 古屋 孝明
- 課長補佐 保坂 淳

郡内支所

- 支所長 古屋 浩昭

編集後記

いよいよ8月に入りました。夏本番です。節電と体調管理に心がけながら、計画的な夏季休暇で心も体もリフレッシュしましょう。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



第13回 センターでバザール

開催日時 平成24年9月8日(土) 午前9時~午後4時

開催場所 協同組合山梨県流通センター
流通会館、流通会館前駐車場及び周辺道路

- 開催内容
- ★バザールコーナー(組合員等による出店)
靴、スニーカー、パン、和洋菓子、バッグ、文具製品、傘、子供服等多数
アクセサリ通販のサン宝石も出店
 - ★飲食コーナー(組合員等による出店)
やきそば、やきとり、かき氷、うどん、フランクフルト等
 - ★イベント
中央市保育園マーチング
 - ★大ビンゴ大会(豪華賞品多数)
 - ★働く車大集合
パトカー、消防車、救急車
 - ★フリーマーケット

お問い合わせ 協同組合山梨県流通センター
中央市山之神流通団地2-6-1 Tel 055-273-4711(内藤)

新採用職員紹介



やまなし農業6次産業化等
チャレンジ推進事業

嘱託職員 一瀬 絵里

7月から新たに1名の
職員を採用しましたの
で紹介します。

東北へ。 被災地へ。

2011年3月11日、日本中に12に激震が走り、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震は、大津波を引き起こし、東北地方から関東地方の太平洋沿岸の広範囲にわたって甚大な被害をもたらした。福島では原子力発電所の事故による放射能汚染という深刻な事態にまで発展した。

各所で家屋の倒壊や液状化現象、地盤沈下などが相次ぎ、ライフラインも寸断。最大時で40万人といわれる避難者に対して生活に必要な物資は圧倒的に足りないという事態が起こりました。

地震の翌日3月12日、一刻も早く被災地に物資を届けよう、全国から緊急救援物資を積んだトラックが被災地に向かいました。

東北へ、被災地へ。食料、水、衣料品を、生活に必要なありとあらゆるものが全国から集積拠点に集められ、速やかに仕分けされて膨大な数の避難所へと運ばれていく。暮らしのライフラインの一つであるトラック運送にこそ、この災害時の緊急輸送は、訓練はしていたものの、想像以上に大規模なものでした。そして今、私たちトラックが運んでいるものは緊急救援物資から、復興のための物資へと変わってきています。

私たちは確信を持っています。

「みんなが力を合わせれば、必ず困難を克服できる」ということを。

「私たちが一つになれば、必ず日本を再生できる」ということを。

トラックが運ぶ

復興と未来とぼくたちの夢
平成23年度環境標語最優秀作品

がんばろう
日本!!



(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中銀 地域活力強化ファンド

- 地域ブランド産業
- 医療・介護ビジネス
- 環境配慮
- 観光ビジネス
- 事業承継・M&A
- モノづくり
- 農業
- ETC.

地域活力強化ファンド
幅広い資金ニーズに
ご利用いただけます。

山梨中央銀行は、
地域ブランド産業や成長分野ビジネスに
関する取り組みを応援いたします。
ぜひお気軽にご相談ください。

■山梨中銀 地域活力強化ファンドの概要	
お取扱期間	平成24年4月2日(月)~平成25年3月29日(金)
ご利用いただける方	中堅・中小企業および個人事業主のみなさま
お申し込み	事業に必要な運転資金・設備資金(借換資金を含みます) ※ご利用既済ご融資資金のお借換えにはご利用いただけません。
ご融資金額	5億円以内
ご融資期間	(運転資金)1年超5年以内 (設備資金)1年超15年以内(法定耐用年数以内となります) ※1年以内の据置期間を含みます。 ※お借換え資金については、原則として残存期間の範囲内とします。
ご融資利率	当行所定の利率(固定金利または変動金利)を適用いたします。 ※ご融資期間10年超の場合は、変動金利となります。
ご返済方法	元金均等毎月返済
担保・保証人	個別の審査となります。
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。
お取扱総額	200億円

※ 審査の結果、ご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
※ 取扱期間中でも、総額が200億円に達した場合は、お取り扱いを中止させていただきます。
◎くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 http://www.yamanashibank.co.jp/
0120-201862(照会コード:9)
受付時間 月曜日~金曜日9:00~17:00
(ただし、祝日・12/31~1/3は除きます。)

明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク

Face to Face

山梨信用金庫
(055-235-0311)

甲府信用金庫
(055-222-0231)

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、
平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。
(一部対象外のATMがございます。)